記者発表資料

平成２１年１０月１日
国　土　交　通　省
森吉山ダム工事事務所

第3回 「森吉山ダム建設事業マネジメント委員会」 を開催します

～ *より効率的なダム建設を目指して* ～

森吉山ダムでは、事業費や工程管理の充実を図るために、第三者の意見を求める機関としての「森吉山ダム建設事業マネジメント委員会」を平成20年度に設立し、過去2回開催してきましたが、今年度においても下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

記

日　時：平成21年10月6日（火） 13:30～15:00を予定
（※委員の方には、先に11:45より現地視察をして頂きます。）
会　場：国土交通省　森吉山ダム管理所（北秋田市根森田字姫ヶ岱31）
（※森吉山ダム広報館左隣りの新庁舎）
主　催：森吉山ダム工事事務所

問合せ先

国土交通省　東北地方整備局　森吉山ダム工事事務所
〒018-4394　北秋田市米内沢字東川向5
TEL:0186－72－3015（代表）
副所長（技術）　菊地　厚　（内線204）
工務課長　　菅原　裕彦　（内線311）

※ 委員会は非公開としております。撮影等は冒頭にお願い致します。御了承さい。ただし、議事概要については、希望があれば後日提供致します。
※ 本記者発表は、県政記者クラブ、大館市記者クラブ、北秋田記者クラブに投げ込みにて実施しております。

ダム建設事業は、多種で長期に渡る工程と多額の事業費を必要とするプロジェクトであり、その間、事業進捗や社会情勢の変化により、事業内容の変更及びそれに伴う総事業費の変更が余儀なくされる事例を見受けられることがある。

特に昨今の社会情勢においては、公共事業そのものの見直しや、事業が進んでいるものに関しては、よりいっそうのコスト縮減、工期の遵守に取り組んでいくことが求められているところである。

上記を踏まえ、東北地方整備局森吉山ダム工事事務所では、平成20年度に第三者からなる当委員会を設立したものである。

平成20年度末時点における事業進捗率は、事業費ベースで 95%であり、事業量としては残り少ない状況ではあるが、残事業においてもさらなるコスト縮減及び工程管理の充実を図るため、当委員会を継続開催していくものである。

※委員メンバー

区　分		氏　名	所　　属	役職名
学識者	治　水	佐藤悟[i]	秋田工業高等専門学校	准教授
	経　済	沼倉雅枝	監査法人トーマツ公認会計士	シニアマネージャー
利水者	上水道	岩本治義（はるよし）	北秋田市	上下水道課長
	発　電	鐙 盛雄（あぶみもりお）[ii]	東北電力（株）　土木建築部	課長（水力計画担当）
秋田県		藤田博美（ひろみ）[iii]	建設交通部	河川砂防課長

[i] 委員長
[ii] 新委員（人事異動による入替）
[iii] 新委員（人事異動による入替）

以上